

# 平成25年度 財政状況資料集

## 総括表（市町村）

都道府県名	静岡県		市町村類型	II-2		指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	区分		平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)														
						財政健全化等	×	歳入総額	20,410,969			19,646,803	実質収支比率			6.4	8.3												
市町村名	裾野市		地方交付税種地	1-3		財源超過	○	歳入歳出差引	19,580,881	18,505,531	830,088	1,141,272	経常収支比率	91.5	88.2														
						首都	×	翌年度に繰越すべき財源	70,093	230,480	(※1)	(97.4)	(92.4)																
						近畿	×	実質収支	759,995	910,792	標準財政規模	11,892,425	10,938,004																
						中部	○	単年度収支	-150,797	-16,963	財政力指数	1.01	1.00																
人口	22年国調(人)	54,546	産業構造(※5)			過疎	×	積立金	7,160	5,434	公債費負担比率	13.7	12.2																
	17年国調(人)	53,062				山振	×	繰上償還金	-	-	健全化判断比率	-	-																
	増減率(%)	2.8				低開発	×	積立金取崩し額	950,000	650,000	実質赤字比率	-	-																
住民基本台帳人口(※6)	26,01,01(人)	53,754	第1次	22年国調	17年国調	低開発	×	積立金取崩し額	950,000	650,000	連結実質赤字比率	-	-																
	うち日本人(人)	53,061		542	837	指数表選定	○	実質単年度収支	-1,093,637	-661,529	実質公債費比率	9.0	9.6																
	25,03,31(人)	53,814	第2次	10,456	10,473			基準財政収入額	9,133,253	7,943,437	将来負担比率	8.6	6.9																
	うち日本人(人)	53,122		38.2	36.6			基準財政需要額	8,767,557	8,028,205	資金不足比率(※4)																		
	増減率(%)	-0.1	第3次	16,369	17,157			標準税収入額等	11,892,425	10,316,303																			
	うち日本人(%)	-0.1		59.8	60.0			経常経費充当一般財源等	10,658,874	10,441,663																			
面積(km <sup>2</sup> )	138.17						歳入一般財源等	14,900,300	14,782,721																				
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	395																												
世帯数(世帯)	21,042																												
職員の状況																													
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	19,647,136	19,455,645																		
	市区町村長	1	8,100		一般職員	372	1,182,216	3,178	うち公的資金	11,557,485	11,828,555																		
	副市区町村長	1	6,500		うち消防職員	73	233,016	3,192	債務負担行為額(支出予定額)	5,016,167	1,417,531																		
	教育長	1	6,250		うち技能労務職員	16	58,160	3,635	収益事業収入	-	-																		
	議会議長	1	3,750		教育公務員	26	86,495	3,327	土地開発基金現在高	436,656	436,473																		
	議会副議長	1	3,350		臨時職員	-	-	-	財政調整基金	6,363,559	6,846,399																		
	議会議員	19	3,150		合計	398	1,268,711	3,188	積立金現在高	134,740	134,665																		
						ラスパイレズ指数			100.0	減債基金	2,433,624	2,485,394																	
										その他特定目的基金																			
	一般会計等の一覧																												
項番	会計名	事業会計の一覧		項番	会計名	公営企業(法適)の一覧		項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧		項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧		項番	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧		項番	団体名	(※3)							
(1)	一般会計	(4)	国民健康保険特別会計	(7)	水道事業会計	(8)	十里木高原簡易水道特別会計	(9)	下水道事業特別会計	(10)	静岡県市町総合事務組合	(11)	裾野、長泉清施設組合	(12)	裾野市振興公社	(13)	駿豆学園管理組合	(14)	静岡県後期高齢者医療広域連合	(15)	静岡県後期高齢者医療広域連合(事業会計分)	(16)	静岡県地方税滞納整理機構	(17)	三島市外5ヶ市町箱根山組合	(18)	三島市外3ヶ市町箱根山組合	(19)	駿東地区交通災害共済組合

(注釈) ※1: 経常収支比率の( )内の数値は、「減収補償債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。  
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。  
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、「健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。  
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。  
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。  
 ※6: 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。



(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

平成25年度 静岡県裾野市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	20,348	19,521	827	757	1,071	20,282	
2 土地取得特別会計	0	0	0	0	0	0	
3 墓地事業特別会計	63	60	3	3	0	263	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							

### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人口	53,754	人(H26.1.1現在)	-	%
うち日本人	53,061	人(H26.1.1現在)	-	%
面積	138.17	km <sup>2</sup>	-	%
歳入総額	20,410,969	千円	9.0	%
歳出総額	19,580,881	千円	8.6	%
実質収支	759,995	千円		
標準財政規模	11,892,425	千円		
地方債現在高	19,647,136	千円		
実質赤字比率	-	%		
連結実質赤字比率	-	%		
実質公債費比率	9.0	%		
将来負担比率	8.6	%		
市町村類型	H21 II-2 H22 II-2 H23 II-2			
(年度毎)	H24 II-2 H25 II-2			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。  
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。  
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。  
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。  
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

#### 財政力

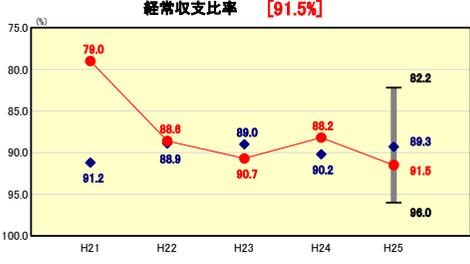
類似団体内順位 1/20 全国平均 0.49 静岡県平均 0.79



**財政力指数の分析欄**  
 当市は、企業の堅調な業績に支えられ、良好な財政力を維持し、昭和58年から平成22年まで連続して普通交付税の不交付団体であった。しかし、リーマンショック以降の急激な経済状況の悪化から、法人市民税を中心とする市税の大幅な減収により、平成23年度および平成24年度は普通交付税の交付団体となった。市税の徴収率向上や安定した税収を確保する施策の推進などを通じて財政基盤の強化に努める。

#### 財政構造の弾力性

類似団体内順位 14/20 全国平均 90.2 静岡県平均 88.8



**経常収支比率の分析欄**  
 平成21年度は79.0%であった経常収支比率は、法人市民税などの市税収入の大幅な減収により、平成23年度以降は90%前後に悪化し、財政構造の硬直化が進んでいる。行財政改革により経常経費の削減を図り、より効率的な財政運営に努める。

#### 人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 19/20 全国平均 116,288 静岡県平均 106,498



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**  
 類似団体内平均値を大幅に上回っている主な要因は、市域が広い公共施設が点在していることなどが考えられる。具体的には、「広域にわたる消防・救急業務」、「直営によるごみ処理業務」、「教育充実のための小学校9校への低学年多人数学級対応補助講師配置」、「小学校8校の給食単独調理」、「待機児童ゼロに向けた公立の5保育園・6幼稚園の園児入所措置」などを積極的に1を行うために臨時職員を配置していることなどによる。  
 住民のニーズも高く、安心・安全に直結する事業であるため、短期間で大幅な見直しは困難ではあるが、民間委託の導入や事業評価制度などにより事務事業の見直しを進め、経費の削減に努める。

#### 将来負担の状況

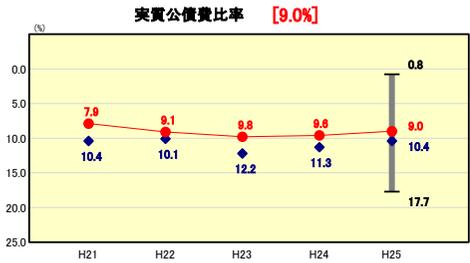
類似団体内順位 5/20 全国平均 51.0 静岡県平均 42.0



**将来負担比率の分析欄**  
 類似団体平均を大きく下回っているが、平成22年度以降は、財政調整基金を取り崩した財政運営を行っている。このため充当可能財源が減少し、将来負担比率が上昇している。今後は、各種基金や市債を活用した財政運営が見込まれるため、数値の上昇が想定される。将来の負担を軽減するために、事務事業の見直しや行財政改革により、健全な財政運営に努める。

#### 公債費負担の状況

類似団体内順位 6/20 全国平均 8.6 静岡県平均 9.7



**実質公債費比率の分析欄**  
 類似団体平均(10.4%)を1.4ポイント下回る9.0%であり、対前年度比では0.6ポイント改善した。今後は、公共施設等の老朽化に伴う更新や大規模改修などにより公債費の増加が見込まれるため、数値の上昇が想定されるが、計画的な財政運営による市債管理により、健全な財政運営に努める。

#### 定員管理の状況

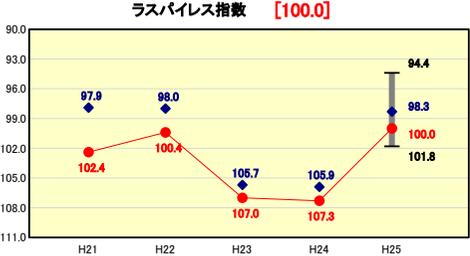
類似団体内順位 14/20 全国平均 6.96 静岡県平均 6.81



**人口千人当たり職員数の分析欄**  
 「人口千人当たり職員数」が増加した要因は、消防広域化および幼稚園の充実による職員増に対し、人口が減少しているためである。また、当市の広域的地域性及び政策上の理由により、消防職・衛生職の職員数が類似団体と比較して多いことが、差を生じる要因と捉えている。地域主権や静岡県の権限移譲に伴う事務量の増と、行政改革による定員削減とのギャップが顕在化してくると思われるが、こうした厳しい社会情勢と当市の独自の高い要件を考慮した上で、民間委託、事務事業の見直しなどの行政改革を推進するとともに、定員管理に基づき職員数の適正化に努める。

#### 給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 16/20 全国市平均 98.6 全国町村平均 95.6



**ラスパイレス指数の分析欄**  
 ラスパイレス指数が大幅に変動しているのは、国家公務員の2年間の給与減額措置が終了し、通常と比較に戻ったためである。国家公務員の給与減額措置がなかった場合の前年度ラスパイレス指数は99.1であったため、0.9ポイントの上昇となっている。職員構成の変動が主な要因である。  
 一方、本来比較対象となるべき地域手当を加味した「地域手当補正後のラスパイレス指数」は96.4であり、国家公務員を大きく下回る指数となっている。  
 今後は、年功序列的な昇格の見直しや、職務職責や勤務成績に応じた給与制度の確立、各種手当の適正化などにより、給与水準の適正化に努める。

# (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

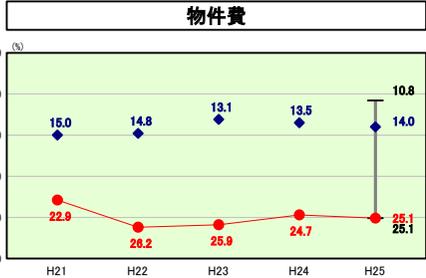
静岡県裾野市

## 経常収支比率の分析

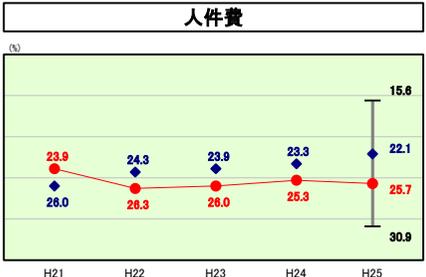
人口	53,754	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	53,061	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	138.17	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	9.0	%
歳入総額	20,410,969	千円	将来負担比率	8.6	%
歳出総額	19,580,881	千円	市町村類型	H21 II-2 H22 II-2 H23 II-2	
実質収支	759,995	千円	(年度毎)	H24 II-2 H25 II-2	
標準財政規模	11,892,425	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



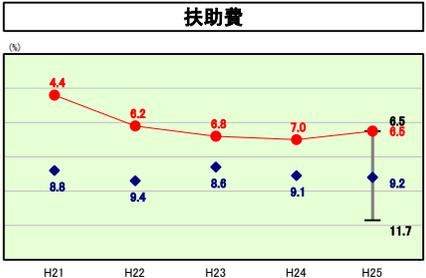
**物件費の分析欄**  
 物件費の比率は、類似団体の中で最大値である。これは、臨時職員賃金や施設運営管理経費が多いことが要因に挙げられる。具体的には、「教育充実のための小中学校への補助講師の配置」、「小学校給食の単独調理」、「待機児童ゼロに向けた公立保育園・幼稚園の園児入所措置」などの事業を積極的に行なっているためである。  
 今後は、選択と集中の観点から事業見直しなどを実施し、物件費の削減に努める。



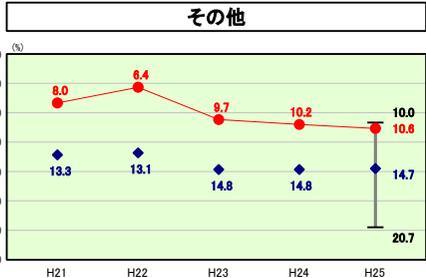
**人件費の分析欄**  
 平成21年度までの当市の人件費は、類似団体と比べて低い値で推移してきた。これは、企業等からの税収に支えられた財政状況において、人件費の割合が小さかったためである。しかし、リーマンショック以後、税収の大幅な減少により事業費の見直しを行ったため人件費の割合が上昇した。併せて、団塊世代や市制施行時の大量採用による当市のいびつな職員分布により、定年間近な職員の人件費による圧迫が続いている。今後は、定員管理に基づく職員削減により人件費は縮減されていく見込みである。



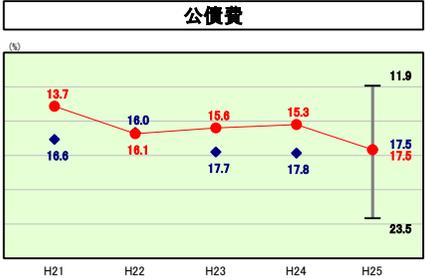
**補助費等の分析欄**  
 補助費等の比率は、類似団体内平均値に比べ5.7ポイント下回っている。ごみ処理、消防業務等を単独で行っているため、他団体への負担金等が少ないことが要因に挙げられる。



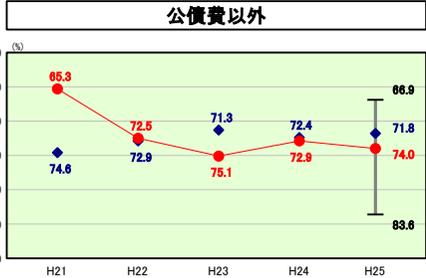
**扶助費の分析欄**  
 類似団体の中で最小値である要因は、年少人口割合および生産年齢人口割合が高く、高齢者人口の割合が低いという人口構成の特性に大きな要因があると考えられる。  
 平成25年度は、市単独事業の見直しにより前年度に比べ0.5ポイントの改善となった。しかし、今後は、高齢化率の上昇に伴い扶助費の増加が見込まれる。



**その他の分析欄**  
 他団体と比較して良好な数値となっている。  
 その他に含まれる主なものには、繰出金がある。特別会計に対する繰出金については、独立採算の原則から必要に応じて料金等を見直すことで適正化し、普通会計から特別会計への繰出金の削減に努める。



**公債費の分析欄**  
 平成20・21年度に発行した減収補てん債の償還開始などにより公債費が大幅に増加し、公債費の比率は、類似団体内平均値と同率となった。公共施設等の老朽化に伴い更新や大規模改修が見込まれる状況においては市債の発行が必要であるが、事業の選択と集中により比率上昇の抑制に努めたい。



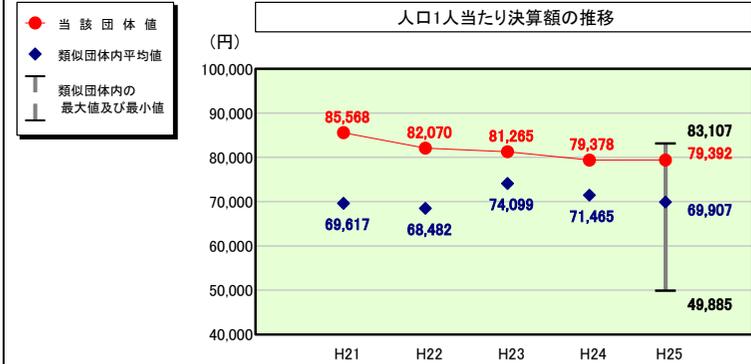
**公債費以外の分析欄**  
 公債費を除く経常収支比率は、類似団体内平均値を2.2ポイント上回っている。内訳を分析すると、各種施策の実施のため、賃金、施設管理費等の物件費の水準が高いことが要因である。今後においても事業評価等を通じて事業内容や経常経費の見直しに取り組む。

# (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

静岡県裾野市

## 人件費及び人件費に準ずる費用の分析



## 人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	3,437,176	63,943	59,577	7.3
賃金(物件費)	780,913	14,528	6,072	139.3
一部事務組合負担金(補助費等)	22,398	417	6,337	▲93.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,374	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	168,511	3,135	2,292	36.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	104,992	1,953	1,457	34.0
▲退職金	▲246,366	▲4,583	▲7,201	▲36.4
合計	4,267,624	79,392	69,907	13.6

## 参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.40	6.96	0.44
ラスパイレズ指数	100.0	98.3	1.7

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析

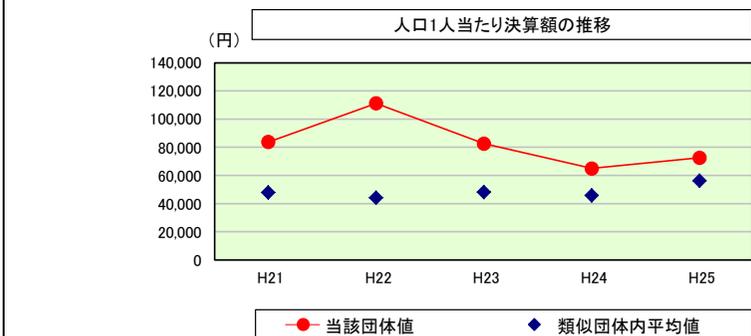


## 公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,042,675	38,000	42,301	▲10.2
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	37	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	285,714	5,315	17,965	▲70.4
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	264	5	1,746	▲99.7
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	71,662	1,333	1,139	17.0
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	1	-
▲特定財源の額	▲166,174	▲3,091	▲6,957	▲55.6
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲1,243,476	▲23,133	▲37,780	▲38.8
合計	990,665	18,430	18,452	▲0.1

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

## (参考) 普通建設事業費の分析



## 普通建設事業費

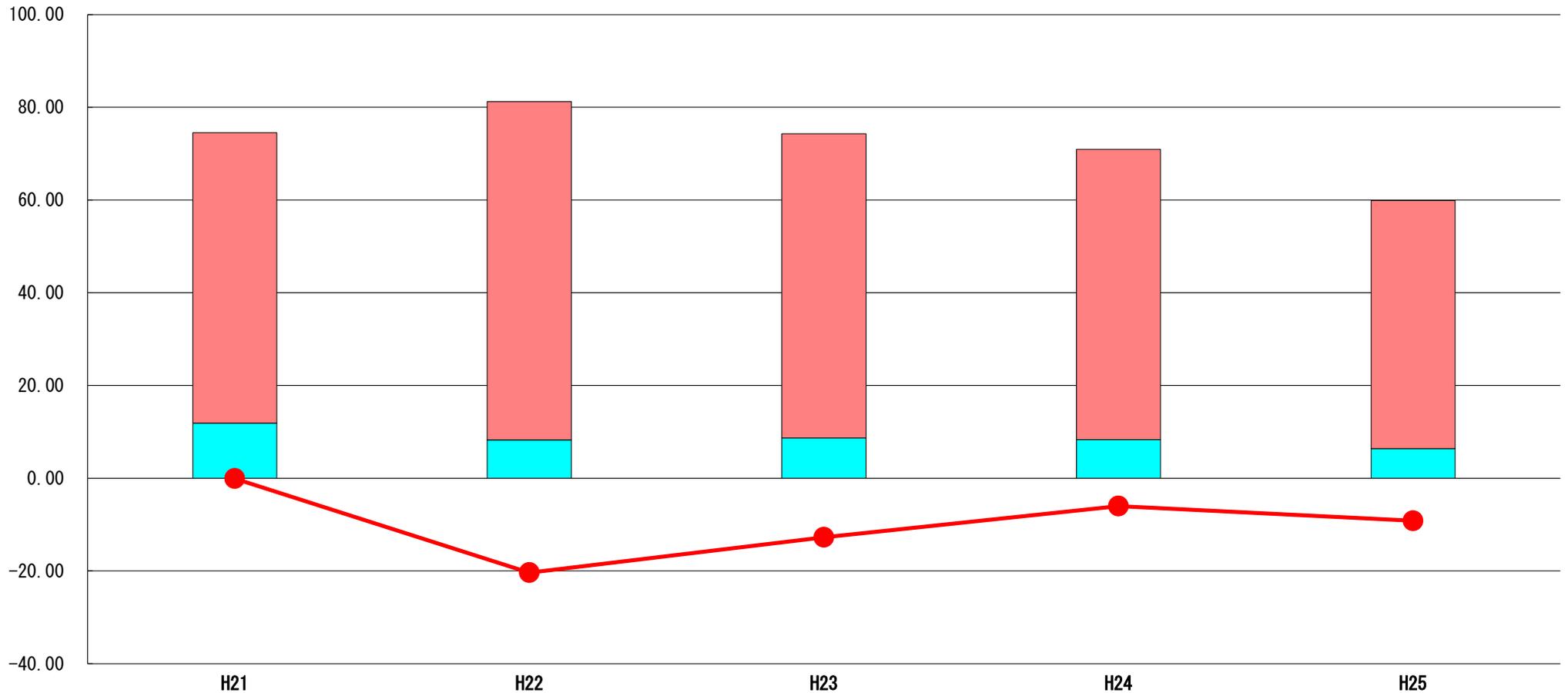
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H21	4,494,330	83,762	▲1.9	47,847	16.6	▲18.5
うち単独分	3,813,807	71,079	0.5	27,406	7.2	▲6.7
H22	5,937,638	111,202	32.8	44,162	▲7.7	40.5
うち単独分	4,578,094	85,740	20.6	24,931	▲9.0	29.6
H23	4,401,936	82,557	▲25.8	48,103	8.9	▲34.7
うち単独分	2,775,355	52,051	▲39.3	22,640	▲9.2	▲30.1
H24	3,494,745	64,941	▲21.3	45,761	▲4.9	▲16.4
うち単独分	2,180,930	40,527	▲22.1	24,777	9.4	▲31.5
H25	3,897,552	72,507	11.7	56,255	22.9	▲11.2
うち単独分	2,287,963	42,564	5.0	26,957	8.8	▲3.8
過去5年間平均	4,445,240	82,994	▲0.9	48,426	7.2	▲8.1
うち単独分	3,127,230	58,392	▲7.1	25,342	1.4	▲8.5

# (5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

平成25年度

静岡県裾野市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		62.64	72.99	65.63	62.59	53.51
 実質収支額		11.90	8.27	8.67	8.33	6.39
 実質単年度収支		▲ 0.10	▲ 20.39	▲ 12.78	▲ 6.05	▲ 9.20

## 分析欄

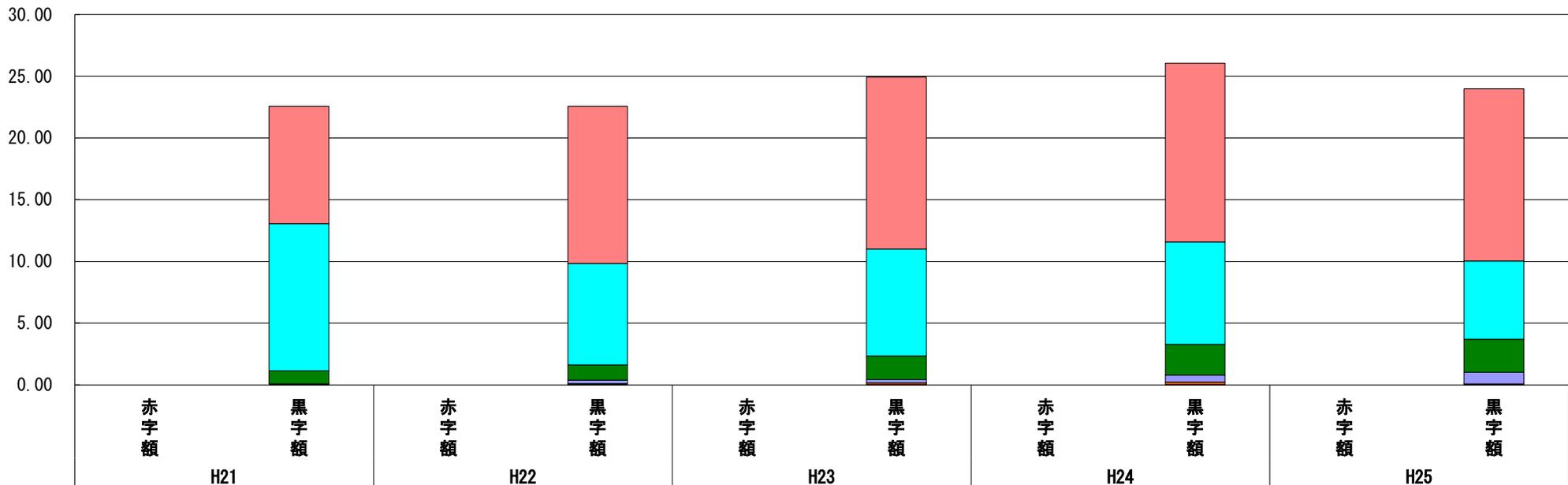
財政調整基金残高は、平成22年度をピークに減少傾向である。これは景気後退による法人市民税の減少を財政調整基金を取り崩して補ったためである。  
 税制改正による法人市民税率の見直しなどにより市税収入は楽観視できない状況にあるため、財政調整基金の取り崩しによる財政運営が続くことが見込まれる。持続可能な財政運営のためには、市民サービスの急激な低下を招かないよう配慮しつつ、歳出の見直しに取り組む必要がある。

# (6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

静岡県裾野市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	H21	H22	H23	H24	H25
水道事業会計		9.51	12.74	13.93	14.48	13.94
一般会計		11.90	8.21	8.66	8.31	6.36
国民健康保険特別会計		1.07	1.23	1.91	2.47	2.67
介護保険特別会計		0.02	0.30	0.27	0.59	0.94
後期高齢者医療事業特別会計		0.03	0.04	0.15	0.19	0.04
墓地事業特別会計		-	0.05	0.01	0.02	0.03
土地取得特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
十里木高原簡易水道特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.03	0.00	0.00	0.00	0.00

## 分析欄

一般会計、すべての特別会計及び事業会計において黒字であった。  
今後も、全会計において健全な財政運営に努めたい。

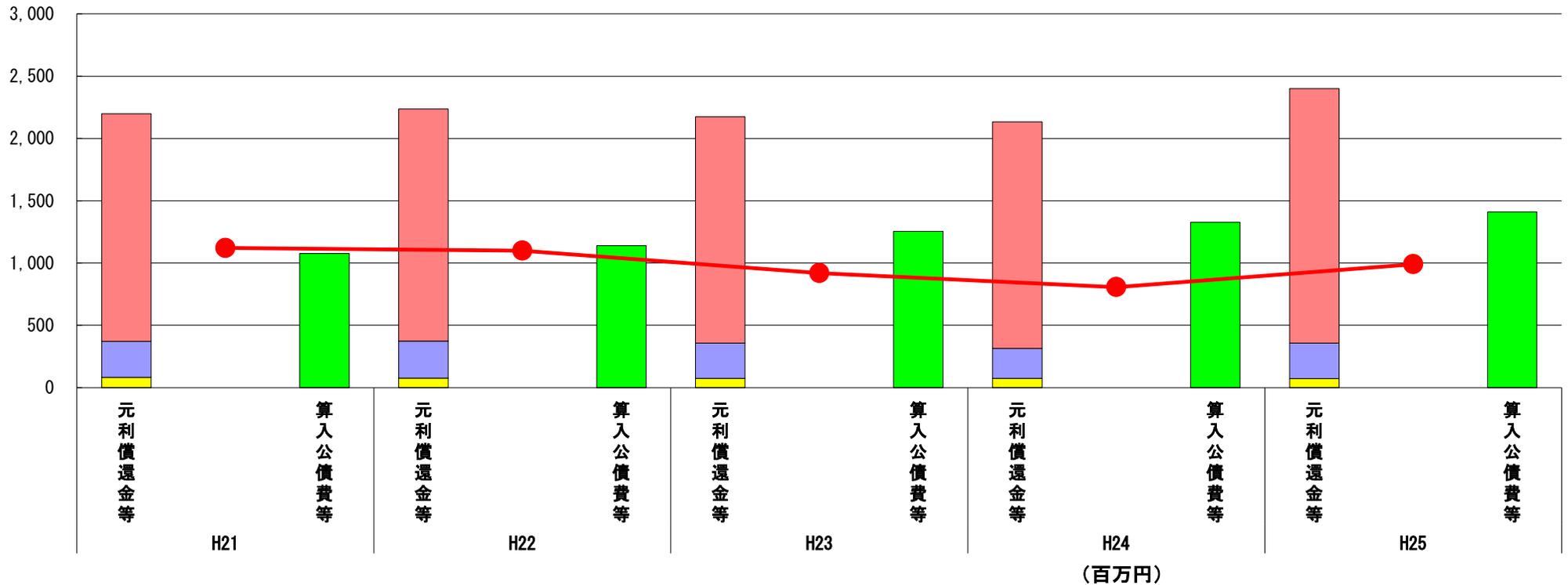
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

静岡県裾野市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等(A)	元利償還金	1,826	1,864	1,818	1,818	2,043
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	289	298	282	242	286
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	0	0	0	0	0
	債務負担行為に基づく支出額	83	76	75	74	72
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	1,077	1,139	1,255	1,327	1,410
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	1,121	1,099	920	807	991

**分析欄**

平成21年度以降は、元利償還金の額、公営企業債の元利償還金に対する繰入金の額とも概ね一定の水準で推移している。地方債借入や債務負担行為の設定に際しては、中長期的な計画を立て平準化をはかり、実質公債費比率上昇の抑制に努める。

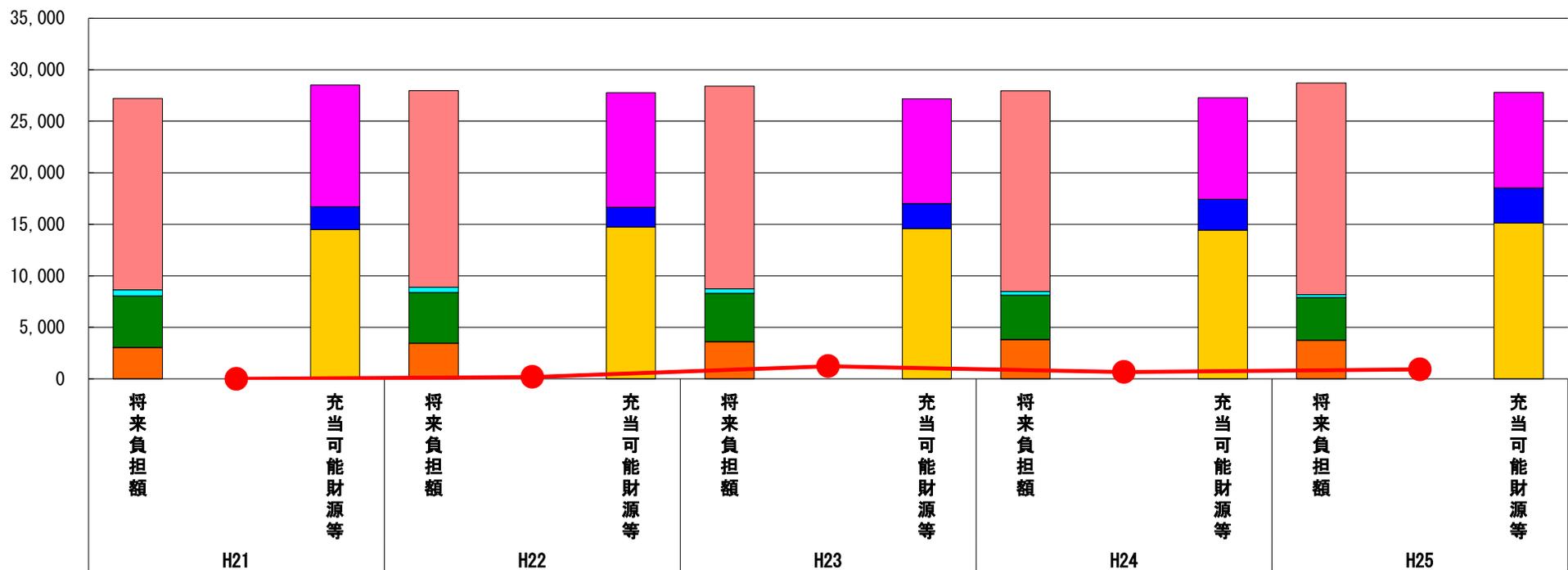
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

# (8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

静岡県裾野市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		18,559	19,089	19,679	19,456	20,545
	債務負担行為に基づく支出予定額		596	508	430	356	285
	公営企業債等繰入見込額		4,960	4,892	4,673	4,312	4,118
	組合等負担等見込額		22	20	18	17	15
	退職手当負担見込額		3,056	3,461	3,613	3,808	3,754
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		11,801	11,124	10,149	9,852	9,268
	充当可能特定歳入		2,221	1,921	2,432	2,972	3,398
	基準財政需要額算入見込額		14,495	14,732	14,589	14,444	15,129
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 1,324	193	1,242	681	923

## 分析欄

将来負担額は、景気後退の影響を受け、臨時財政対策債や平成20・21年度に減収補てん債を発行したため地方債の残高が急増したが、平成23年度をピークとして下がり始めた。これらの地方債の借入については、基準財政需要額算入見込額も増加しているため将来負担比率への影響は少ないと見込まれる。

しかしながら税制改正による法人市民税率の見直しなどの影響を受ける市税収入は今後も楽観視できない状況にあり、財政調整基金を取り崩した財政運営が続くと見込まれる。将来への負担を減らすために事業の見直しなど歳出削減に向けて取り組み、健全な財政運営に努めたい。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。